

2022年 プログラム近況報告

フィリピン サマール地域開発プログラム

World Vision

この子を救う。未来を救う。

地域を代表し、皆さまに感謝いたします



チャイルド・スポンサーの皆さま、ご支援をありがとうございます。子どもたちそれぞれの潜在能力を引き出し、才能を発揮できるよう活動を続けています。皆さまの寛大なお気持ちによるご支援は、子どもたちに有意義で喜びある生活をもたらしています。

ボニファシオ・カラパン
サマール 地域開発プログラムマネージャー

225

1～3年生の子どもたちの保護者225人が識字プログラムに関する研修を受け、子どもたちが家で楽しく読み書きを学べるように手助けする方法を学びました。

1,513

最も弱い立場におかれている子どもたち1,513人に、学用品、通学かばん、制服、車イスなどの補助器具などを支援しました。弱い立場におかれた子どもたちが学校に通い、より良い未来を築けるように支えています。

フィリピン：日本 出典：国連開発計画（UNDP）2020年

5歳未満児死亡数
(出生1,000人あたり)



28.4

2.5

1人当たりの国民総所得
(GNI)



\$9,778

\$42,932

1,000人あたりの18歳未満の女性の出生数



54.2

3.8



「以前は、夫の収入をサポートするために働きたくても、その機会がありませんでした。でも、ワールド・ビジョンの活動を通じて作物の栽培方法を学ぶことができたので、今では収穫したものを売り、家計を助けることができるようになりました」

ロイダさん、母親

149

地域住民149人が、ビジネス（商売）の運営ややり方について学びました。それぞれが自分で生計を立て、家族のニーズを満たしています。

263

地域の子どもたち263人が、他者への思いやりや他者の価値観の尊重を学ぶ啓発活動に参加しました。そこでは、自分や他者が価値ある者であることを理解し、健全な選択をし、前向きな人間関係を築くために何が大切かを学びました。



支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

「勉強が楽しくなりました」



「ぼくは、読み書きが苦手でした」とマークくん（6歳）は話します。マークくんのお父さんは建築の仕事をしていて、お母さんは家事をするために家にいます。「お母さんがずっと勉強を教えてくださいましたが、それでもよくわかりませんでした。途中であきてしまって、勉強をしなくなることもありました」

チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援により、子どもたちの保護者や家族に、読み書きの教え方のトレーニングを行い、教材も提供することができました。それにより、子どもたちは家庭でも楽しく勉強できるようになりました。

「ぼくのお母さんは、カラフルな絵のついた読み物をもらってきました。それにあったお話が、とても面白かったです！ お母さんは、ぼくに今までとは違う方法で、わかりやすく読み書きを教えてくださいるので、勉強が楽しいです。簡単な文章はもう読めるようになりました。とてもうれしいです」

ご支援により、チャイルドと家族の生活に 大きな変化をもたらされています

フィリピン サマール地域開発プログラム (PHL-194416)

2021年度 (2020年10月1日～2021年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	40,446,605
前期からの繰越額	160,324
プログラム支援額合計	40,606,929

プログラム支出額	
教育プロジェクト	23,521,370
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	16,498,936
プログラム支出額合計	40,020,306
次期繰越額	586,623


活動内容

教育プロジェクト

- ・ 就学に関する保護者への啓発・研修
- ・ 学習教材の改善と普及
- ・ コロナ禍での在宅学習の支援
- ・ 地域の貯蓄グループ運営や生計向上の支援

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- ・ 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- ・ チャイルドの定期的なモニタリング
- ・ 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- ・ 子どもの保護体制の強化に向けた地域関係者との連携

 お問い合わせ先
 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
 TEL : 03-5334-5351

 Eメール : dservice@worldvision.or.jp
 ホームページ : www.worldvision.jp

プログラム番号 : PHL-194416